

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200102
法人名	特定非営利活動法人 こしき風林火山
事業所名	グループホーム 多喜人
所在地	鹿児島県薩摩川内市里町里470 (電話) 09969-3-2127
自己評価作成日	令和4年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一昨年に甕大橋が開通し、甕島がひとつとなった。上甕島の里町、観光名所のひとつである武家屋敷通りに当施設がある。平成19年11月1日事業開始。

現在はコロナ禍により近隣住民や地域との関りは少なくなりましたが、魚や野菜等の差し入れは多く、住み慣れた地域の中で生活できている実感がある。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所の近くに観光名所の武家屋敷がある。
- ・地元職員が多く、利用者と馴染みの関係が深いので思いや意向が言いやすく、思いを把握できる環境にある。利用者も職員も家族も顔馴染みではあるが、馴れ合いにならないように言葉遣いや声かけに配慮し、親しみの中にも節度あるケアを行っている。
- ・コロナ感染防止のために、面会・外出・地域行事の自粛を行っているが、島内家族の面会や散歩に出かけたり近隣からの野菜の差し入れ等、地域との交流が途切れないように工夫している。
- ・清潔を心掛け、清掃に力を入れており、ホーム内はさわやかで居心地よく過ごせる環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内で最も目立つ場所に掲示し、共有しやすい環境としている。	理念はホール内に掲示している。利用者本位のケアになるように毎月の職員会議で話し合い理念を共有しケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当該自治会に加入しているが、コロナ禍で交流は殆どなくなってしまった。	自治会に加入し回覧板等で地域の情報を得ている。医療機関受診の帰りなどドライブをして自宅周辺に行ったりしている。近隣との散歩時のあいさつや野菜の差し入れ等は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員が個別にできる範囲でおこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍により、会議文書配布が殆どである。	運営推進会議は2ヶ月毎にホームの状況報告や内部行事・外部評価結果報告書などを委員会メンバーに直接自宅に訪問して手渡ししている。事業所の取組み等会話する中で意見なども聞いたりして、意見は事業所の運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>甌島振興局が隣町に、市民サービスセンターが近所にあり、各種代行申請等で情報交換おこなっている。</p>	<p>支所に報告や申請に出かけた時に事業所の実情についても話をして情報交換を行っている。電話・ファックスなどで運営推進会議の打ち合わせなどを行っている。今年から支所が合併して隣町になり、研修会はオンラインで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体的拘束適正化委員会を設置し、身体拘束は絶対におこなわないケアをおこなっている。</p>	<p>マニュアルを基に身体的拘束適正化委員会・虐待防止委員会を3ヶ月毎に職員会議の後に開催している。名前を呼ぶときは〇〇さんと呼んでいる。地元の職員が多く、馴れ合いにならないようお互い注意し合っている。日中は施錠せず身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止委員会を設置し、虐待を絶対におこなわないケアをおこなっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護や成年後見制度の事例がなく、理解を深める機会も殆どない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所申し込み時は原則本人及びご家族に来園いただき、施設見学や重要事項説明をおこなったうえで契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者は日常生活の中で把握し、ご家族には面会時や自宅訪問等で要望等確認している。</p>	<p>利用者と日常のコミュニケーションの機会を多くとり、聞き取りをしている。家族からは面会時や自宅訪問時に要望等を聞いている。窓越しでの面会や自宅訪問時に写真と一緒に日々の様子を一筆添えて届けて、思いを聞き、運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議等で設けているが、全体で言いづらいことはその他個別で聞くようにしている。</p>	<p>管理者の方から職員会議で話しやすいように要望を聞き、支援についてや購入品の要望に対応している。個人的な相談にも適切にアドバイスを行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務に対する姿勢等を評価し、賞与にて反映するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍、立地等の問題により外部研修の機会が非常に少ないため、施設内研修を随時おこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修があった際には、同業者との交流を図るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前訪問が重要であると考え、コミュニケーション等により環境変化や精神的変化の緩和につとめるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申し込み時より継続的に関り、入所前の自宅訪問や入所後の訪問、電話連絡等で情報収集につとめ、環境整備に配慮している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所申し込み時、必要に応じてその他のサービスの説明も併せておこなっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の生活リズムが職員の都合で左右されないように注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族への状況報告は定期的な文書による報告や電話連絡等おこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>私物購入や理美容等本人やご家族の希望がある場合は、可能な限り対応するようにしている。</p>	<p>電話で家族と会話したり、年賀状の返事を書いたり、ドライブで自宅の周りに行くこともあり馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。馴染みの店での買い物は職員が行い、散髪は美容師に訪問してもらいカットしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者が自室に閉じこもりにならないよう、茶話会やレクリエーション等交流の機会を多く設けるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後の状況確認、面会等は可能な限りおこなうようにしている。また、ご家族との関係も継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の状態確認やコミュニケーションの中で本人の希望や意向の確認をおこない、利用者本位の介護につとめている。	地元職員が多く、馴染みの関係が深いので思いや意向が言いやすく、思いを把握できる環境にある。コロナ禍で認知症の進行があり、本人の確認ができていたやり取りが難しくなっている場合もあり、本人の思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前訪問を十分におこない、環境整備に取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を確実に把握、理解し、利用者の生活リズムの把握につとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や朝礼等で各利用者の状況や変化等を情報共有している。	本人・家族の思いを聞き、職員で話をしている。モニタリングを毎月行い、職員会議で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。見直しは1年毎に行っているが、状況変化等があれば随時計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録を作成、記入し、情報共有を図るとともに、職員間での申し送り帳を作成、共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者本位の立場となり、利用者の意向が出来る限り反映できるよう配慮している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域とのつながりを大切にし、地域行事への参加等おこなうようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医を原則継続し、定期往診をいただいている。体調変化時の受診も施設対応している。</p>	<p>契約時に本人・家族の希望を確認している。かかりつけ医に月2回往診してもらっている。緊急時は主治医の指示で対応している。島外の医療機関受診が必要な時は家族と施設長が同行して対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	他職種協働により、主治医との連携を図っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者の入院は本土医療機関であることが多い。入院後は入院医療機関との密な連携、随時の面会等を通し、退院時のスムーズな受け入れ等に配慮している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所時に重度化や看取りに対する意向をできるだけ確認し、その後の状態変化時に再確認している。	マニュアルがあり、契約時に重度化や終末期のあり方について事業所の方針を説明している。状態変化に応じて事業所でできる事の限界も説明しながら何度も確認を行っている。主治医からも家族への説明を行い家族の意向も大切にしながら支援に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時マニュアル等により、適切に対応できるよう、随時確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練やその他不定期におこなわれる行政の訓練等に可能な場合は参加するようにしている。</p>	<p>年2回消防署の協力を得ながらマニュアルを基に避難訓練を実施している。コロナ禍の為、事業所独自でも訓練計画書を作成し実施している。避難場所は隣のユニットに避難し、その後は寺の境内を2番目にしている。原子力災害の範囲にもなっている。消防団員が運営推進会議のメンバーでもあり地域との協力体制ができています。災害時の備蓄は米や水・缶詰・カップ麺・レトルト食品等も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員と利用者・ご家族が昔からの知り合いという場合が多く、そのことにより利用者・ご家族と馴れ合いになってしまわないよう注意している。</p>	<p>利用者も家族も職員も知り合いであることが多いので言葉遣いや態度等について馴れ合いにならないように話し合っている。名前もさん付けで呼んだり、トイレ誘導への声掛けはさりげなく行い、トイレは扉をしめたり入室の際はノックして声かけをして了解をもらい入室している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者の希望や意向を把握できるようなコミュニケーションに取り組んでいる。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活リズムを把握し、その生活リズムを守るように配慮している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自己決定が困難な利用者は、職員が確認しながらおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全利用者が食事を楽しみにされている。地元の食材を多く使用し、家庭的な食事の提供につとめている。	地元の食材を使って調理担当職員が作成している。誕生会・敬老会・クリスマス会等の行事食も楽しみにになっている。利用者はお茶を入れたり・配膳・下膳を一緒に行っている。つわの皮むきや筍の皮むきなどもしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録表を作成しており、食事・水分摂取量の記録をおこなっている。医療機関やご家族への報告等にも活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者毎食後の口腔ケアを確実にこない、記録している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成、記録し、利用者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導等おこなっている。	排泄記録で排泄パターンを把握してトイレ誘導をしている。車いすで自力でトイレに行く人もいる。排泄の自立ができるよう支援を行っている。ドアを閉めたりパーテーションを使ったりして羞恥心への配慮をしている。夜間のみポータブルトイレを使用する場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく緩下剤を使用しないケアをおこなっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を設けず、利用者の状況に合わせて入浴できるよう配慮している。	入浴は週2回を目途に声掛けしている。入浴剤を使ったり2人介助の場合もある。入浴拒否の場合は声掛けを工夫して入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	精神面での安定やコミュニケーション等により不安軽減を図り、なるべく安眠できるよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しており、種類や効能を記載し、服薬チェックをおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出希望時の対応や日々のレクリエーションの実施、ドライブ等、気分転換への配慮をおこなっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>馴染みの店での私物購入や理美容室、自宅訪問等可能な限り本人の希望に沿えるよう配慮している。</p>	<p>日常的には近隣の散歩をしたりベランダに出て外気浴を行いゆっくりくつろいでいる。受診の帰りにドライブで花見や景色を眺めて季節を感じている。希望を聞いてできるだけ思いに添えるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣い程度のお金を管理している利用者があられ、私物購入等おこなっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等、利用者の希望に沿うよう対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内の「匂い」を重視して毎日の清掃に取り組んでいる。また、季節感を感じられる装飾品等配慮している。</p>	<p>共用空間は加湿器・オゾン発生器を設置し換気もこまめに行って室内の温・湿度に配慮している。台所は対面式で和やかである。季節の飾り物を置き、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>畳やテーブル等設置し、交流の場を多く提供できるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはなるべく自宅で慣れ親しんだ物を置いていただくようお願いしている。希望者には畳敷きも対応している。</p>	<p>居室にはベッド・タンス・エアコンが備えられている。自宅ですべて使っていたテレビ・タンス・机・いす・小物を持ち込み、家族写真等を飾り、利用者が安心して過ごせる工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は全てバリアフリーとなっており、移動がスムーズに安全におこなえるようになっている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない